

優良基準全体像

1	遵法性	従前の産業廃棄物処理業の許可の有効期間又は当該有効期間を含む、連続する5年間のいずれか長い期間において特定不利益処分を受けていない事。
2	事業の 透明性	法人の基礎情報、取得した産業廃棄物処理業等の許可の内容、 産業廃棄物処理施設の能力や維持管理状況、産業廃棄物の処理状況等の情報を一定期間継続してインターネットを利用する方法により公表し かつ、所定の頻度で更新している事
3	環境配慮 の取組	ISO14001、エコアクション21等の認証制度による認証を受けている事
4	電子 マニフェスト	電子マニフェストシステムに加入しており、電子マニフェストが利用 可能である事
5	財務体質の 健全性	①直前3年の各事業年度における自己資本率が零以上である事。 ②次のイ又はロのいずれかの基準に該当する事。 イ、直前3年の各事業年度のうちいずれかの事業年度における 自己資本率が10パーセント以上である事。 ロ、全事業年度における営業利益金額等が零を超える事。 ③直前3年の各事業年度における経常利益金額等の平均値が 零を超える事。 ④産業廃棄物処理業等の実施に関する税、社会保険料及び労働 保険料について、滞納していない事。

【情報公表項目の全体像】

	公表項目	更新頻度	摘要	
			収集運搬	処分
①	【法人の場合】法人に関する基礎情報	変更の都度(代表者等の氏名等については一年に一回以上)	○	○
	【個人の場合】個人に関する基礎情報	変更の都度		
②	事業計画の概要	変更の都度	○	○
③	申請者が受けている産業廃棄物処理業の許可証の写し	変更の都度	○	○
④	運搬施設に関する事項	変更の都度(運搬施設の種類・数量については一年に一回以上)	○	
	処理施設に関する事項	変更の都度		○
⑤	事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図	変更の都度		○
⑥	直前一年間の産業廃棄物の一連の処理の工程	一年に一回以上		○
⑦	直前三年間の産業廃棄物の受入量・運搬量	一年に一回以上	○	○
	直前三年間の産業廃棄物の受入量・処分量 中間処理後産業廃棄物の処分量	一年に一回以上		
⑧	直前三年間の産業廃棄物処理施設の維持管理状況	一年に一回以上		○
⑨	直前三年間の産業廃棄物の焼却施設における熱回収実績	一年に一回以上		○
⑩	【法人の場合】直前三事業年度の財務表	少なくとも定時株主総会で承認を受け又は報告された都度	○	○
⑪	処理料金の提示方法	変更の都度	○	○
⑫	業務を所掌する組織・人員配置	変更の都度(人員配置については一年に一回)	○	○
⑬	処分後の産業廃棄物の持出先の開示の可否に関する事項	変更の都度		○
⑭	事業場の公開の有無・公開頻度	変更の都度	○	○

【法人に関する基礎情報】

名 称	有限会社 アリタサービス
事務所・事業場の所在地	本 社:福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号 事業所:福岡県北九州市八幡西区夕原町7-3
設立年月日	平成12年10月5日
資本金・出資金	1,000万円
代表者	代表取締役 有田 康宏
役員等	代表取締役 有田 康宏 (平成26年4月8日就任) 専務取締役 有田 郷志 (平成26年4月8日就任) 取締役 有田 敬一 (平成26年4月18日就任)
従業員数	40名
事業の内容	昭和55年 9月:北九州市下畑にて起業 平成12年 4月:北九州市一般廃棄物収集運搬業許可取得(個人) 平成12年10月:有限会社アリタサービス設立 平成13年 2月:北九州市一般廃棄物収集運搬業許可取得(法人) 平成16年11月:福岡県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成18年 9月:エコアクション21認証所得 平成23年 8月:山口県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成25年 2月:佐賀県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成25年 3月:熊本県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成26年 4月:代表取締役有田康宏就任 平成27年 5月:ゼロエミッションに取り組み廃プラスチック類のリサイクルシステムを構築 6月:北九州市産業廃棄物処分業許可取得 6月:皇后崎工場稼働 10月:業務拡張に伴い増トンパッカー車増車 平成28年 1月:業務拡張に伴い10t ウイング車導入 8月:資本金を1,000万に増資 平成29年 3月:業務拡張に伴い10t ウイング車増車 4月:福岡県経営革新企業認定 令和元年 9月:一般貨物運送事業許可取得 11月:福岡県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 令和2年 6月:山口県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 6月:北九州市産業廃棄物処分業許可優良認定取得 8月:北九州市認定産業廃棄物処理業者取得 8月:佐賀県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 12月:熊本県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 12月:広島県産業廃棄物収集運搬業許可取得 令和3年4月:福岡県八女市に食品リサイクル工場開設 4月:宮崎県産業廃棄物収集運搬業許可取得

事業の内容	令和3年5月:福岡県産業廃棄物処分業許可取得 5月:鹿児島県産業廃棄物収集運搬許可取得 7月:大分県産業廃棄物収集運搬業取得 11月:北九州SDGs登録制度に第一次登録 12月:エコフィード認証(yameFEED 3認証2号) 令和4年3月:八女工場に粉碎処理の設備を追加 4月:八幡西区下畑町に健康維持を目的とした福利厚生施設開設 8月:収集運搬量1万トン(年間)達成 11月:福岡県SDGs登録制度に第一次登録 令和5年1月:八女工場に太陽光発電設備設置 3月:八女工場粉碎処理設備を追加 7月:再生利用事業者登録 7月:ふくおか健康づくり団体事業所宣言登録 10月:安全衛生宣言公開
-------	--

【事業計画の概要】

1. 事業の全体計画

福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県の各事業所及び食品等の製造工場より排出される産業廃棄物をキャブオーバー又は塵芥車を使用して収集し、北九州エコレム協同組合等に搬入する。

2. 取り扱う産業廃棄物種類及び運搬量

	産業廃棄物の種類	運搬量(t/月)	性状	予定排出事業所の名称及び所在地	積替保管について	予定運搬先の名所及び所在地(処分場の名称及び所在地)
1	紙くず	2t/月	固形	県内印刷工場	なし	株式会社西原商事 北九州市八幡西区陣原2-2-21
2	木くず	2t/月	固形	県内工事現場	なし	ホクザイ運輸株式会社 北九州市小倉北区西港町72-32
3	燃え殻	0.5t/月	固形	県内焼却炉 設置事業所	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
4	がれき類	2t/月	固形	県内建築現場	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
5	繊維くず	1t/月	固形	県内繊維工場 製造業	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
6	廃油	1.5t/月	固形	県内食品 製造加工工場	なし	(株)アサヒブリック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
7	汚泥	1t/月	固形	県内食品 製造加工工場	なし	喜楽鉱業株式会社 北九州市若松区響町1-64
8	動植物性残さ	30t/月	液体	県内食品 製造加工工場	なし	北九州エコレム協同組合 北九州市若松区響町1-12-5
9	廃プラスチック類	20t/月	液体	県内食品 製造加工工場	なし	有限会社アリタサービス 北九州市八幡西区皇后崎町15-8
10	金属くず	0/5t/月	固形	県内家電量販店	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
11	ガラス屑等	2t/月	固形	県内工事現場	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
12	ゴムくず	0/5t/月	固形	県内ゴム工場	なし	(株)アサヒブリック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
13	鋳さい	0/5t/月	固形	県内鋳物工場	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
14	ばいじん	0/5t/月	粉体	県内焼却炉 設置事業所	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
15	動物系固形 不要物	2t/月	固形	県内食肉屠畜場 食肉製造加工工場	なし	北九州エコレム協同組合 北九州市若松区響町1-12-5
16	廃酸	2t/月	固形	県内製薬 製造工場	なし	(株)アサヒブリック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
17	廃アルカリ	2t/月	固形	県内飲料 製造工場	なし	(株)アサヒブリック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
18	動物の死体	1t/月	液状	県内家畜事業所、	なし	北九州エコレム協同組合 北九州市若松区響町1-12-5
19	石綿含有 産業廃棄物	1t/月	液状	県内建設現場	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
20	水銀使用製品 産業廃棄物	0/5t/月	固形	県内事業所	なし	株式会社ジェイ・リライツ 北九州市若松区響町1-62-17
21	水銀含有 ばいじん等	0/5t/月	固形	県内事業所	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先

事業計画の概要解説

事業計画の概要は、産業廃棄物処理業許可申請時の添付書類と同じ内容。

具体的には、「事業の全体計画」「収集運搬・処分する産業廃棄物の運搬量・処分量」「収集運搬・処分業務の具体的な計画、環境保全措置の概要」を公表する。

※情報の一般公開であることから、企業秘密に触れるような情報については省略

【許可の内容（事業の範囲）】

産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）																	その他				
都道府県及び 政令都市	積替 保管		許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ダスト類（ばいじん）	13号廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の 所在地及び面積 許可の条件
	有	無																							
福岡県		●	令和1年11月 8日 令和8年11月 7日	第04000074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
山口県		●	令和2年 6月 2日 令和9年 6月 1日	第03500074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
熊本県		●	令和2年12月4日 令和9年12月3日	第04305074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
佐賀県		●	令和2年 8月17日 令和9年 8月16日	第04101074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
宮崎県		●	令和3年4月28日 令和8年4月27日	第04101074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
鹿児島県		●	令和3年6月29日 令和8年6月28日	第04603074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
広島県		●	令和2年12月14日 令和7年12月13日	第03400074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
大分県		●	令和3年7月8日 令和8年7月7日	第04408074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	積替保管なし 許可の条件なし
産業廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）																	その他				
北九州市			令和2年6月8日 令和9年6月7日	第07620074943	廃プラスチック類																	破碎 圧縮	4.8 t / 日（8時間） 16.9 t / 日（8時間）		
福岡県			令和3年5月18日 令和8年5月17日	第07620074943	動植物性残渣																	乾燥	8.1 t / 日（8時間）		

一般廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）			その他
都道府県及び 政令都市	積替 保管		許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	A類 （ふん尿を除く一般 廃棄物）生ごみ・紙類 ・缶・びん・ペット ボトル等	B類 （A類から生ごみを 除いたもの）	
	有	無			D類 （浄化槽を清掃した 際に生じる汚泥に 限る）		積替保管施設の所在地及び 面積許可の条件
北九州市		●	令和5年2月26日 令和7年2月25日	北九一廃 第049号	●		積替保管なし 許可の条件なし

【施設等の状況】

【収集運搬車両一覧】

車両型式	登録番号	最大積載量 (Kg)	積載可能寸法 (長さ×幅×高さcm)	排ガスレベル
塵芥車	北九州830さ2828	1,750	699×220×268	
塵芥車	北九州830ふ77	1,800	638×220×270	
塵芥車	北九州830す378	1,950	663×222×261	平成12年基準適合/排出ガス
塵芥車	北九州830せ3838	1,950	709×220×267	平成17年基準適合/PM10%
塵芥車	北九州830ふ80	2,650	637×220×250	
塵芥車	北九州830さ588	3,800	756×220×274	平成22年機制適合車
塵芥車	北九州830す2568	3,800	734×223×274	
塵芥車	北九州830す388	3,950	742×227×275	平成22年機制適合/排出ガス
塵芥車	北九州830さ288	4,100	719×222×278	平成19年基準適合/排出ガス
塵芥車	北九州830そ1828	5,600	831×227×280	
キャブオーバー	北九州483さ1000	350	339×147×179	
脱着装置付 コンテナ専用車	北九州103さ3568	7,900	628×231×249	
脱着装置付 コンテナ専用車	北九州130せ188	8,000	627×227×249	平成20年適合車
バン	久留米130た1158	2,450	865×249×348	
バン	北九州130む18	12,200	1,190×249×379	
バン	北九州130ふ38	12,600	1,188×249×379	
バン	北九州130ち28	12,900	1,195×249×378	
バン	北九州131さ6	13,100	1,195×249×378	平成21年基準適合適合/排出
バン	北九州102た5	13,600	1,196×250×379	平成21年規制適合車
バン	北九州105す1	13,800	1,195×249×377	平成17年基準適合/PM10%
セミトレーラー	北九州130せ1557	27,000	1,291×249×319	
セミトレーラー	北九州130さ558	38,430	565×249×318	

【積み替え保管施設】

積み替え保管施設は無い

【破碎処理施設】

☐ 破碎 4.8t/日(8時間)

☐ 圧縮 16.9t/日(8時間)

【乾燥処理施設】

☐ 乾燥 8.1t/日(8時間)

【受託した廃棄物の運搬量】

2 1 期(2020年10月～2021年9月)産業廃棄物収集運搬量 (単位: Kg)													
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
廃プラスチック類	207, 170	249, 243	247, 329	234, 514	214, 780	307, 495	294, 739	269, 512	415, 497	359, 313	390, 989	344, 029	3, 534, 610
動植物性残渣	144, 430	163, 680	206, 080	184, 420	179, 700	262, 730	342, 820	318, 850	292, 645	327, 130	381, 210	410, 680	3, 214, 375
動物の死体	16, 190	15, 620	22, 400	21, 260	27, 260	34, 660	28, 080	28, 570	25, 050	18, 870	16, 110	19, 080	273, 150
汚泥	107, 610	117, 760	31, 800	84, 830	97, 050	117, 560	109, 920	125, 560	144, 360	155, 510	93, 410	154, 600	1, 339, 970
混合廃棄物	12, 380	12, 680	3, 960	10, 670	16, 780	10, 410	12, 250	12, 600	12, 470	15, 460	3, 410	5, 460	128, 530
木くず	0	0	0	0	2, 290	0	0	130	0	0	0	0	2, 420
金属くず	210	140	1, 830	869	120	1, 171	724	386	1, 770	0	0	190	7, 410
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	12, 340	7, 920	9, 172	8, 643	7, 850	7, 782	10, 139	6, 806	10, 880	8, 590	7, 470	8, 660	106, 252
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	13, 370	0	43, 080	0	0	0	0	0	0	56, 450
燃え殻	0	0	0	118, 340	0	52, 630	0	13, 580	28, 450	80, 630	77, 900	56, 150	427, 680
合計	500, 330	567, 043	522, 571	676, 916	545, 830	837, 518	798, 672	775, 994	931, 122	965, 503	970, 499	998, 849	9, 090, 847
2 2 期(2021年10月～2022年9月)産業廃棄物収集運搬量 (単位: Kg)													
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
廃プラスチック類	305, 638	357, 323	345, 632	276, 364	266, 366	305, 810	292, 875	289, 691	280, 888	281, 475	256, 174	269, 268	3, 527, 504
動植物性残渣	723, 270	734, 330	453, 800	404, 050	397, 730	448, 860	435, 470	368, 505	352, 480	354, 285	350, 600	375, 140	5, 398, 520
動物の死体	15, 780	17, 280	20, 920	17, 320	18, 030	27, 250	23, 180	0	0	5, 890	6, 390	6, 160	158, 200
汚泥	106, 530	130, 050	110, 910	82, 520	116, 850	135, 740	123, 750	122, 150	117, 880	98, 010	95, 500	101, 150	1, 341, 040
混合廃棄物	9, 330	5, 890	5, 340	5, 880	3, 930	6, 550	6, 990	5, 850	9, 570	2, 020	10, 550	4, 720	76, 620
木くず	0	1, 950	0	0	0	0	0	1, 900	0	0	0	0	3, 850
金属くず	0	0	0	0	0	0	130	0	0	0	300	0	430
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	10, 960	8, 640	9, 620	9, 870	11, 070	11, 110	11, 140	9, 130	9, 200	8, 760	16, 590	5, 280	121, 370
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1, 580	1, 580
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	82, 540	84, 460	143, 640	29, 210	146, 390	16, 150	54, 340	51, 900	26, 220	27, 580	28, 700	28, 150	719, 280
合計	1, 254, 048	1, 339, 923	1, 089, 862	825, 214	960, 366	951, 470	947, 875	849, 126	796, 238	778, 020	764, 804	791, 448	11, 348, 394
2 3 期(2022年10月～2023年9月)産業廃棄物収集運搬量 (単位: Kg)													
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
廃プラスチック類	235, 517	240, 313	245, 139	212, 111	220, 998	246, 304	212, 834	221, 884	262, 041	242, 440	271, 468	245, 796	2, 856, 845
動植物性残渣	274, 790	261, 770	290, 229	269, 330	261, 440	281, 510	277, 130	268, 190	277, 290	386, 540	345, 930	307, 230	3, 501, 379
動物の死体	9, 650	6, 580	9, 890	7, 140	631	5, 430	10, 090	712	6, 200	6, 100	7, 020	10, 510	79, 953
汚泥	116, 780	100, 540	124, 630	98, 140	124, 830	137, 530	111, 680	102, 370	166, 580	128, 250	112, 570	73, 230	1, 397, 130
混合廃棄物	4, 250	3, 870	2, 760	3, 170	5, 690	11, 740	7, 920	6, 890	7, 210	2, 200	3, 545	7, 770	67, 015
木くず	0	0	0	0	2, 450	0	0	530	0	0	0	0	2, 980
金属くず	270	0	0	180	100	100		0	0	308	0	340	1, 298
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	15, 430	13, 860	4, 070	14, 460	4, 960	810	0	3, 280	26	0	0	0	56, 896
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	51, 670	26, 540	53, 090	26, 600	27, 710	26, 860	276, 250	28, 190	29, 210	57, 860	0	26, 350	630, 330
合計	708, 357	653, 473	729, 808	631, 131	648, 809	710, 284	895, 904	632, 046	748, 557	823, 698	740, 533	671, 226	8, 593, 826

【第21期財務諸表】

自 2020年10月1日
至 2021年9月30日

【貸借対照表】

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	184,037	流動負債	56,623
		固定負債	442,017
		負債合計	498,640
固定資産	329,620	純資産の部	
有形固定資産	307,339	資本金	10,000
		利益剰余金	5,017
投資その他の資産	21,969	純資産合計	15,017
資産合計	513,658	負債・純資産合計	513,657

【損益計算書】

(単位:千円)

売上高	600,535
売上原価	266,921
売上総利益	333,614
販売費・一般管理費	320,523
営業利益	13,090
営業外収益	8,081
営業外費用	1,939
経常利益	19,233
特別利益	3,260
特別損失	4,958
税引前当期純利益	17,535
法人税・住民税・事業税	106
当期純利益	17,429

【今期反省】

今期PLは、売上高は前年より39.5ポイントと大幅なアップができたことにより営業・経常・純利益ともに前年のマイナス決算から改善することができた。

要因としては、今期より八女市で始めた食品リサイクル工場の稼働が貢献した事と、コロナ禍での逆風を新規開拓に向け活動した結果として、従来獲得ができなかった全国展開の取引先との取引が開始された事リサイクル工場で製造する飼料の需要が高まった事が起因している。

今期を初年度として、長期経営計画を作成し予実管理を徹底することで予算達成の制度を上げて行くことが今後の課題と考えている。

BS面は、今期より開始した食品リサイクルへの投資に伴う借入金等の影響もあり最終的に自己資本比率は3%となり、優良認定基準を満たせていない。

コロナ禍での、前向きな投資を実施した結果として、前期掲げた目標は達成することができたが未だ、会社の体力不足は否めない。

【来期目標】

売上高は、650,000千円とし、予実管理を強化する事、無駄な資産を見直し整理することで自己資本率を上げる事、体力強化に向けた組織改革と社員育成に力を入れる事を今期目標とする。

【第22期財務諸表】

自 2021年10月1日
至 2022年9月30日

【貸借対照表】

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	197,659	流動負債	85,826
		固定負債	384,450
		負債合計	470,276
固定資産	308,522	純資産の部	
有形固定資産	271,908	資本金	10,000
		利益剰余金	25,904
投資その他の資産	36,376	純資産合計	35,904
資産合計	506,181	負債・純資産合計	506,181

【損益計算書】

(単位:千円)

売 上 高	736,851
売 上 原 価	329,795
売 上 総 利 益	407,056
販売費・一般管理費	382,301
営 業 利 益	24,755
営 業 外 収 益	18,254
営 業 外 費 用	3,886
経 常 利 益	39,123
特 別 利 益	0
特 別 損 失	14,687
税引前当期純利益	24,437
法人税・住民税・事業税	3,550
当 期 純 利 益	20,887

【今期反省】

PLに関しては売上高、売上総利益ともに前年比22ポイントのアップができたが、世界情勢にからむ電気・燃料費の高騰にともない販管費も19ポイント上がってしまった。
結果としては、営業利益89ポイントアップ、経常利益に至っては前年の倍となり当期純利益も20ポイントアップする事ができ、業績としては順調に進捗している。
この結果に甘んじることなく、来期は年商10億達成に向けた準備期間とし更に気を引き締め取り組む所存である。

BS面は、資産が前年比で2ポイントダウンし、負債も6ポイントダウンした。
利益剰余金は、大幅な改善ができたと思っているが前期に掲げた目標である自己資本比率のアップは4ポイントのアップに留まった、飼料工場の生産性向上を目的で前期とほぼ同等の投資を実施した影響とみている。
今後も前向きな投資をする考えは変わらないが、全体のバランス考慮するよう心掛ける事とする。

【来期目標】

20期から始めた長期経営計画からすると、今期実績は24期の計画に近く計画自体を上方修正し、本来25期の目標であった830,000千円とし、年商10億達成の準備期間と位置づけ、社内体制の強化・人材育成強化・企業理念を全社員に周知徹底する年とする。

【貸借対照表】

資産の部		負債の部	
流動資産	158,902	流動負債	75,784
		固定負債	319,235
		負債合計	395,019
固定資産	299,043	純資産の部	
有形固定資産	259,345	資本金	10,000
		利益剰余金	52,927
投資その他の資産	38,279	純資産合計	62,926
資産合計	457,945	負債・純資産合計	457,945

【損益計算書】

(単位:千円)

売 上 高	716,071
売 上 原 価	296,107
売 上 総 利 益	419,964
販売費・一般管理費	372,611
営 業 利 益	47,353
営 業 外 収 益	24,828
営 業 外 費 用	3,214
経 常 利 益	68,967
特 別 利 益	50
特 別 損 失	29,864
税引前当期純利益	39,153
法人税・住民税・事業税	12,130
当 期 純 利 益	27,022

【今期反省】

PLに関し、売上高が3ポイント下がり前年割れとなった。既存設備の稼働率増進が計画通りに行えなかった事が主因で既存事業に関連するクライアントへの深堀が行き届いていなかった結果と受け止める。効率を考慮した工場運営と収集運搬業務のコース改革を実施した事で売上原価は3ポイント下がり、販管費も2ポイントのアップにとどめる事が出来た結果として、営業利益はほぼ倍となり当期純利益も29ポイントアップできた。23期決算は減収増益の結果であり増収できなかった事実を踏まえ、今後は時代背景や社会情勢に応じた提案力・適応能力を高める事で増収計画を現状に応じて再検討する必要があると実感している。

BS面では資産が10ポイント。負債は17ポイントともにダウンした。利益剰余金をほぼ倍確保できたことで純資産も大幅にアップする事ができ目標としていた自己資本比率13%へと前期比でおよそ2倍の着地を達成する事が出来た。今後も前向きな投資計画は積極的に行う考えであるが優良認定基準の自己資本比率の10%以上は常に維持するように財務体制の強化・安定感が課題と考えている。

【来期目標】

- 売上高は前期目標とした8億3千万とし以下の項目を実施する事とする。
- ①組織体制の強化:社員教育は階層別に、外部研修への派遣と社内での研修を実施し必要に応じて外部からの要員も採用し全社員のレベルアップを図る。
 - ②安全衛生宣言:労働災害事故ゼロに向け発信した安全衛生宣言に沿った行動規範の徹底
 - ③業務改善の進化:工場内作業及び収集業務の効率アップ改善を前提としたPDCAの実践
 - ④評価制度の定着:今期より実施した評価制度の基準をアップし昇給・昇格・賞与に連動させ社員全員がやるべき事は何が不足しているのかを理解し切磋琢磨できる職場環境を整える。
- 上記目標を達成し、社員は無論その家族までが「良い会社」に勤めていると自信もって言える会社となるよう邁進する

21期比較株主資本等変動計算書

有限会社アリタサービス

自：2020年10月1日

至：2021年 9月30日

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合 計			
		資本準備金	他資本剰余金	利益準備金	他利益剰余金					
当期首残高	10,000				△12,412		△2,412			△2,412
当期変動額										
当期純利益					17,429		17,429			17,429
当期変動額合計					17,429		17,429			17,429
当期末残高	10,000				5,017		15,017			15,017

21期比較株主資本等変動計算書(内訳)

(単位：千円)

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合 計
当期首残高	△12,412	△12,412
当期変動額		
当期純利益	17,429	17,429
当期変動額合計	17,429	17,429
当期末残高	5,017	5,017

22期比較株主資本等変動計算書

有限会社アリタサービス

自：2021年10月1日

至：2022年 9月30日

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合 計			
		資本準備金	他資本剰余金	利益準備金	他利益剰余金					
前々期末残高	10,000				△12,412		△12,412			△12,412
前期変動額										
当期純利益					17,429		17,429			17,429
前期変動額合計					17,429		17,429			17,429
前期末残高	10000				5,017		5,017			5,017
当期変動額										
当期純利益					20,887		20,887			20,887
当期変動額合計					20,887		20,887			20,887
当期末残高	10,000				25,904		35,904			35,904

22期比較株主資本等変動計算書(内訳)

(単位：千円)

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合 計
前々期末残高	△12,412	△12,412
前期変動額		
当期純利益	17,429	17,429
前期変動額合計	17,429	17,429
前期末残高	5,017	5,017
当期変動額		
当期純利益	20,887	20,887
当期変動額合計	20,887	20,887
当期末残高	25,904	25,904

23期株主資本等変動計算書

自：2022年10月1日
至：2023年 9月30日

Ⅰ 株主資本		
1. 資本金	前期額(千円)	決算額(千円)
当期首残高	10,000	10,000
当期変動額	0	0
当期末残高	100,000	10,000
2. 利益剰余金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	5,017	25,904
当期変動額		
当期純利益	20,887	27,023
当期末残高	25,904	52,927
その他利益剰余金合計		
当期首残高	5,017	25,904
当期変動額		
当期純利益	20,887	27,023
当期末残高	25,904	52,927
株主資本合計		
当期首残高	15,017	35,904
当期変動額		
当期純利益	20,887	27,022
当期末残高	35,904	62,927
Ⅱ 評価・換算差額等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
Ⅲ 新株予約権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
純資産の部合計		
当期首残高	15,017	35,904
当期変動額		
当期純利益	20,887	27,022
当期末残高	35,904	62,927

個 別 注 記 表(21期)

有限会社 アリタサービス

自:2020年10月 1日
至:2021年 9月30日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」に沿って作成しています。

1. 継続企業の前提に関する注記
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品……最終仕入原価法による原価法
商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産(リース資産除く)

定率法又は、旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、
旧定額法、平成19年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、
定額法、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、
定額法を採用しております。

- (2) 無形固定資産……定額法又は、旧定額法を採用しております。

- (3) リース資産……リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法を
採用しております。

収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成の為の基本となる重要な項目

消費税等の会計処理

税抜き方式で計上している。

3. 貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額	199,751,416円
----------------	--------------

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数	200株
--------------------	------

5. 一株当たり情報に関する注記

一株当たりの純資産額	75,086円63銭
------------	------------

一株当たりの当期純利益金額	87,144円47銭
---------------	------------

個 別 注 記 表(22期)

有限会社 アリタサービス

自:2021年10月 1日
至:2022年 9月30日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」に沿って作成しています。

1. 継続企業の前提に関する注記
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品……最終仕入原価法による原価法
商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産(リース資産除く)

定率法又は、旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、
旧定額法、平成19年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、
定額法、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、
定額法を採用しております。

- (2) 無形固定資産……定額法又は、旧定額法を採用しております。

- (3) リース資産……リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法を
採用しております。

収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成の為の基本となる重要な項目

消費税等の会計処理

税抜き方式で計上している。

3. 貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 277,666,823円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 200株

5. 一株当たり情報に関する注記

一株当たりの純資産額 179,520円 65銭

一株当たりの当期純利益金額 104,434円 02銭

個別注記表(23期)

有限会社 アリタサービス

自:2022年10月 1日
至:2023年 9月30日

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」に沿って作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

(3)リース資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

325,167,207円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

200株

5. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、314,632.50円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、135,111.86円であります。

以上

【処理料金の提示方法】

■ 料金の提示方法

収集運搬を行う現場の状況や、環境が異なる事や、収集運搬する品目が異なる事から、一律料金ではなく、その都度見積もりすることに対応しております。

■ 料金表・料金算定式

収集運搬料金につきましては、種類・数量・収集運搬にかかる距離や現場で必要と考えられる人員等に応じて算出し料金表を提出させていただきます。

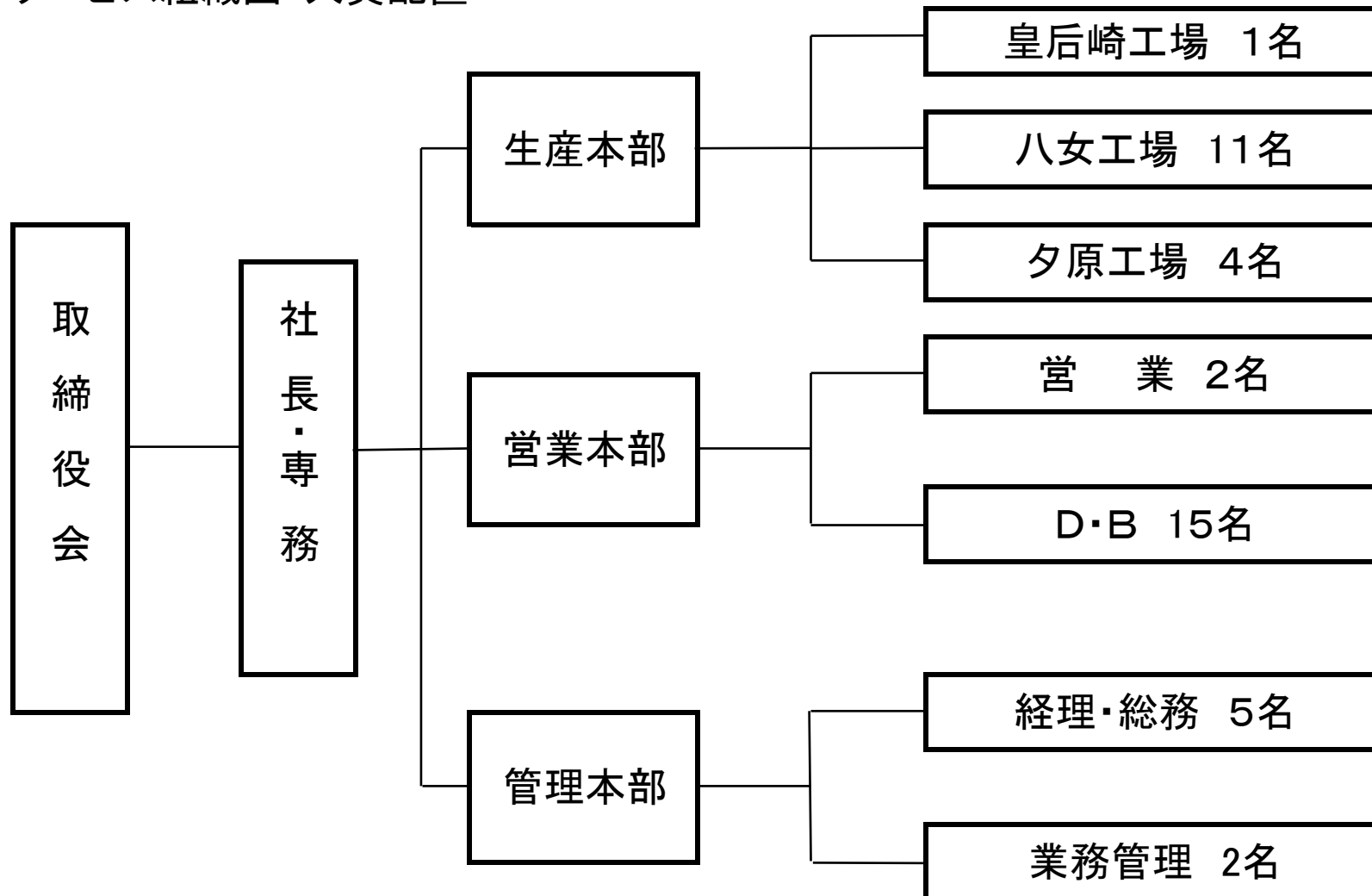
■ お問い合わせ

TEL093－641－0368

専門知識豊富な営業スタッフがお伺いさせていただきます。
廃棄物の事なら何でもお問合せ下さい。

令和5年12月1日現在

アリタサービス組織図・人員配置



【事業場の公開について】

事業場の見学については、電話又はメールにて
随時受け付けております。

内容によっては、ご回答にお時間を頂く事もございますが
あらかじめご了承ください。